



## 自治体病院とともに49年

### 理念

公益社団法人自治体病院協議会と自治体病院の発展に寄与することを目指します

### 基本方針

- ①協議会と協議会所属病院が行う事業に対し協力します
- ②会員を対象とする研修会等を実施します
- ③その他本会の目的達成のため必要な事業を行います

### 会員

病院事業に関わる事業を営む者で本会の主旨を十分に理解した法人です

撮影:プロフォトグラファー 荒木 則行 タイトル:「醍醐桜」

ホスピタルアート普及協会

キャノンマーケティングジャパン株式会社

額装写真レンタルサービス「ShuttlePhoto」より協力提供

## 巻頭 公益社団法人全国自治体病院協議会 中島豊爾副会長インタビュー

### お役立ち情報

## ●病院施設におけるLCC低減と最新の建設単価の動向

# 「中島豊爾副会長」インタビュー

## 賛助会には、「多岐にわたる自治体病院の二一 良い提案をどんどんして欲しい。」



聞き手：全国自治体病院協議会・賛助会  
市川秀和 会長  
伊藤誠 副会長  
宮田賢次 副会長  
平岡秀一 広報委員長

公益社団法人 全国自治体病院協議会の副会長として、様々な問題に取り組まれている一方で、岡山県の最後の砦として無くてはならない病院の院長としてご活躍され、現在は理事長兼名誉院長の中島先生にお話をお聞きしました。インタビューの間、医療に対する熱意がひしひしと伝わってくると同時に、聞き手を和ませる楽しいお話もして頂きました。

### ■副会長の役割

副会長として長くご要職に就かれ、担当されている仕事も本職の精神科のことだけでなく、医師確保、認知症、臨床研修、専門医や総合医、倫理、国際交流、女性医師、総務関係と多岐にわたっており、それだけに随分ご苦労があると思います。

### ■中島副会長

平成17年に前小山田会長から要請があり副会長に就任しました。協議会での私の苦労についてお尋ねですが、元々副会長職も、邊見会長のご負担を少しでも減らせればという思いからで、私などよりも邊見会長のほうが、大変なご苦労をされておられます。あえて私事を云うとすれば、常務理事の時は、特別部会から出席していたので、専門分野の精神科のことだけを言っていればよかったのですが、副会長となると、一般科の診療報酬のことまで、専門分野以外のことを様々勉強しなくてはならなかった事です。

### ■日本の社会、地域と共にある自治体病院

自治体病院は、地域にとって「最後の砦」と言われています。然しながら、社会変化に伴い運営も厳しい状況にあると云われていますが、それについてどのように考えておられますでしょうか。

### ■中島副会長

日本の社会は、現在は停滞しており、逆に緩やかに下がっているように見えます。当然、成長する為の戦略や努力は必要ですが、今は確かな妙案が無いように思えます。社会と共にある医療もその影響を受けざるを得ません。自治体病院の歴史をみても、社会環境に応じて多くの病院が作られ、そして減少したり、又、増えたりと繰り返されてきました。そのことを理解しておかないといけないと思います。そして、大事なのは、地域との医療の関係です。邊見先生がよくおっしゃっていますが、「地域構想なくして地域医療構想はない」と、私もその通りだと思います。町づくりの一貫として医療を考えなければなりません。そういう総合的な見地から見たビジョンが必要だと思います。自治体病院だけは特別で、いつまでも今まで通りと考えていたら間違いです。何をすれば地域住民のために役立つか、これをやればきっと役に立ち、地域にとって必要な病院になるという明確な戦略を立てないと駄目です。社会が変わっていく、地域が変わっていく、その中で医療はどう変わっていくか。ビジョンを明確に出すことが、自治体病院の仕事だと思っています。自治体病院協議会は、正しいことがいえる珍しい会です。ビジョンを打ち出すことは難しいことだと思いますが、会長をはじめとし、みんなが一生懸命に取り組んでいます。

# ズ」を把握し、



## ■岡山県精神科医療センター

①院長にご就任された時、様々な改革を行い患者中心の病院作りをされたとお聞きしています。

### 中島副会長

当院には平成10年、私が52歳のときに院長として赴任してきました。最初に取り組んだのは、患者中心の病院づくりと病院の老朽化に伴う建て替え事業でした。患者中心の病院づくりには、全職員の意識改革が重要であると考え、自ら直接、職員に向き合い皆の考えを聞きました。組合交渉でも率先し意見交換を行いました。直接的な会話をする中で、お互いの意見を交わしたのです。又、国の決めた委員会以外の従来の委員会制度を出来るだけ廃止することに取り組みました。従来の委員会では、問題の解決が迅速にできないと考えたからです。問題解決型のプロジェクト制にすることで、メンバー全員が共通の目的意識を持ち、決められた期日までに目標を必ず達成するんだという意識が持て、達成すればプロジェクトは即座に解散し、新たな問題に取り組むプロジェクトを再構築するといったことです。次に、老朽化に伴う建て替え事業に着手しました。建て替えの必要性を県にご理解頂く事や建て替え場所の選定には苦労しましたが、6つの候補地プランを県から頂き、最終的には、患者にとって一番良い場所として現地で隣接地にも拡張することに決定しました。これには、関係各所の県職員の方々だけでなく知事にもご尽力を頂き大変感謝しています。

②精神症状を伴う救急搬送患者に対する診断治療への積極的な取り組みを行われ、他の総合病院とも連携し、岡山県では無くてはならない病院になっているとお聞きしています。

### 中島副会長

当初は7名の医師しかいなかったのですが、岡山県最後の受け皿には私どもの病院がなろう。困った患者があれば絶対断らないという方針でしたので、医師は、毎週当直を余儀なくされ、睡眠不足の中、ゾンビのようになるまで働いていました。民間を経験した事務長に来ていただいたりし、努力のかけがえがあり、今では職員数は3倍になりました。特に増えたのはコメディカルです。OTとか

PSW（一般科でいうところのソーシャルワーカー）です。医師は4倍になりました。その結果、今では多くの病院と契約し患者を受け入れることが出来ています。岡山市内の総合病院、専門病院だけでなく倉敷でも契約しています。特に救急搬送では、精神疾患が少しでもあると、受入先の決定に手間取り事態が悪化する場合があります。当院では受け入れは勿論のこと、必要であれば電話での対応もしますし、現地に行かないといけないう場合にはすぐに行くようにしています。その為、250床の精神病院ですが、夜間当直は二人当直しています。若し一人が外に出かければ、待機した人が即座に入るという体制です。土日は三人当直体制です。又、最新の医療についても力を入れています。例えば、統合失調症で使うクロザピンですが、当院では全国でも3本の指に入るぐらい使って治療しています。副作用がでやすいので、扱いにも厳しい条件があり通常の治療よりも随分手間がかかりますが患者が一人でも良くなるならば、努力はいくらでもしようという方針で行っています。このように、生物学的な治療も精神科においても随分進歩してきていますが、それ以上に、患者さんに対して医療従事者が患者さんの心の琴線に触れるものを持っていないと駄目だということも忘れてはいけないと思っています。

## ■賛助会に期待することは？

賛助会は、様々な業種があります。どのような事を期待されますか。

### 中島副会長

賛助会は、本当にたくさんの業種がそろっていますね。それも医療に関係している会社ばかりですね。これだけの業種があれば、病院が出来てしまうのではないのでしょうか。私が賛助会に期待したいのは、協議会所属の病院のニーズを把握して欲しいと云う事です。賛助会同様、協議会の会員には、大きな病院のニーズもあれば小さな田舎の病院のニーズもある。総合病院もあれば専門病院もあると云う事です。今後は、これらを踏まえて、良い提案をどんどん出して頂きたいと思います。

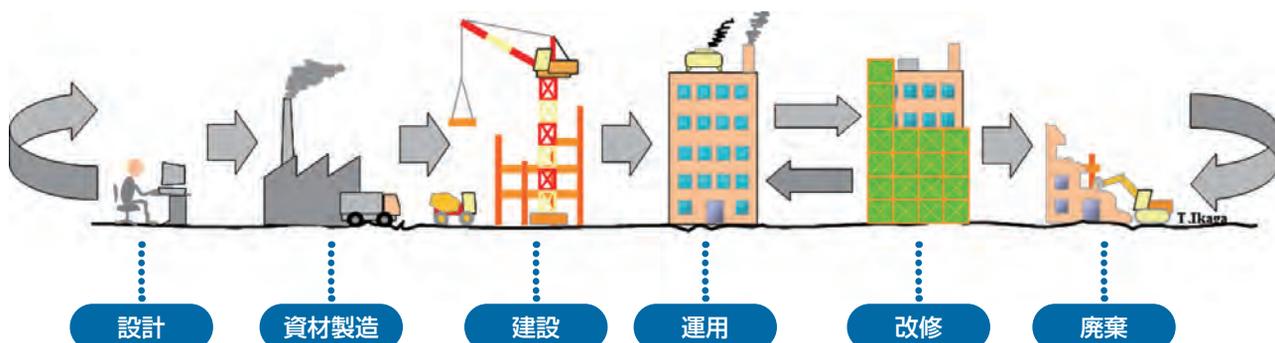
## 1 LCCの考え方

私たち設計者・施工者は、病院様から「安くて良い病院を作って下さい。」とオーダーをいただきます。最大限の知恵と経験を総動員して、病院を作りますが、次のような事をよく耳にします。

- 竣工後の光熱水費が高くてついてしょうがない
- 竣工後5～6年で設備機器の故障や漏水などが頻繁におこる
- そもそも建設費に含まれていないものがいっぱいあった
- 改修工事が容易に行えない
- 暑い・寒いなどのクレームが多い etc…

イニシャルコスト(建設費)の高い安いのみを考えるのではなく、ライフサイクルコスト(LCC)で評価することが重要です。

ライフサイクルコスト(LCC=Life Cycle Cost)とは、建物のライフサイクルでかかる生涯費用のことです。



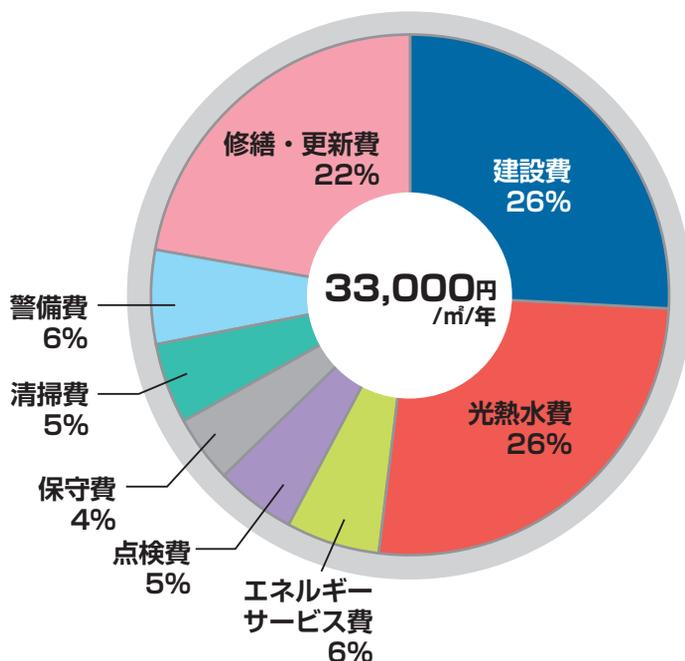
「安くて良い病院」を建設するには、初期建設コストだけではなく、企画・設計・建設段階でLCC評価を実施し、LCCが小さくなる材料や設備を導入することが重要です。

また、運用段階においては、効率的な維持管理を行うことで、LCCを小さくすることが重要です。

40,000㎡、460床の総合病院の実費用を元にした30年間のLCCの構成グラフを右記に示します。

- 全体構成のうち建設費は1/4程度となり、その他の運用管理費が3/4を占め、光熱水費が建設費と同等の費用が掛かることが分かります。

特に比率の大きい項目の光熱水費を削減できれば、施設全体としてのLCC低減効果が大きいことが分かります。



## 2 LCC低減事例

LCCの低減手法を3つ紹介します。

### (1) 運用で削減可能な対策 ～ コストをかけずに、ちょっとした工夫で!

運用による主な対策	エネルギー削減率(%)	削減コスト(千円/年)
ボイラの空気比改善 ・ 空気比を1.4から1.3へ変更	0.2	110
全熱交換器の有効利用の啓蒙 ・ 全熱交換モード/普通換気モードの適正運用	1.1	580
外調機の立ち上がり時運転時間変更 ・ ウォーミングアップ時の外気取り入れを停止	2.4	1,330
廊下照明の半灯 ・ 廊下照明の半灯	1.5	800
外調機運転台数削減による外気導入量の縮小 ・ 夏期、冬期の運転台数削減による外気導入量削減	1.2	670
<b>エネルギーコスト削減量</b>	<b>3,490 千円 / 年 (6.3%)</b>	

リハビリテーション病院 延べ床面積 16,740㎡ 2002年3月竣工

### (2) 投資(省エネ改修)で削減可能な対策 ～ 比較的小さな支出で!

投資(省エネ改修)による主な対策	エネルギー削減率(%)	削減コスト(千円/年)	投資金額(千円)	投資回収年(年)
ハロゲンランプのLED化 ・ エントランス、廊下のハロゲンランプをLED化	0.2	100	330	3.3
省エネファンベルトの導入 ・ 厨房給排気ファンに省エネファンベルトを導入	0.1	20	120	6.0
蛍光灯ダミー管の導入 ・ Hf32W2灯用器具にダミー管を導入	0.2	80	480	6.0
外調機、全熱交換器へのCO <sub>2</sub> ・ よこれセンサーによる発停制御の導入 ・ 手動発停からセンサーによる自動発停制御へ変更	1.8	980	3,100	3.2
<b>エネルギーコスト削減量</b>	<b>1,180 千円 (2.1%)</b>			

リハビリテーション病院 延べ床面積 16,740㎡ 2002年3月竣工

### (3) 長期的に見たLCC低減手法

まず現在の病院の健康状態(設備機器の故障の頻度、配管からの漏水、光熱水費の上昇など)の把握をします。次に計画的な治療=診断にもとづく今後数年間の保全工事の立案を行います。その際の工事にかかる費用の一部は、エネルギーサービス事業者、ESCO事業者のサービス、補助金の利用が考えられます。

ここで、日常の清掃費(LCC構成比率は、約5%程度)の低減方法を紹介합니다。1つは、水道水を電気分解して得られる強アルカリイオン水(pH13.1程度)を用いる清掃方法で、すぎ工程の時間を約30%短縮できます。シミ等の発生がなく、除菌・消臭効果も期待できます。2つめに、ノーワックス床材の採用による水洗い・洗浄のみで完結する清掃方法です。イニシャルコストは5,000~6,000円/㎡と高いですが、ランニングコストが50~80円/㎡・回と長尺シートに比べると半分ぐらいになります。

## 3 参考事例

### ■他病院の省エネの取り組み

#### ●三井記念病院

- 全員参加による省エネ活動の事例
- 基準年に比べ2011年度でCO<sub>2</sub>排出量を37%以上の削減
- 東京都環境局のホームページに掲載(下記URL参照)

[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/large\\_scale/attachement/program1-4.pdf](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/large_scale/attachement/program1-4.pdf)

#### ●国立大学病院の省エネ活動の事例

- 大学病院施設の省エネルギー対策の事例
- 京都大学、富山大学の事例
- 文部科学省のホームページに掲載(下記URL参照)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/green/1308515.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/green/1308515.htm)

### ■病院の主な省エネ対策手法

#### ●(一財)省エネルギーセンター

病院の省エネのポイントと対策および事例を紹介 <http://www.eccj.or.jp/hospital/index.html>

#### ●(公財)東京都環境公社 クール・ネット東京

業務別の省エネ対策テキストが掲載されている <http://www.tokyo-co2down.jp/seminar/type/text/>

#### ●文部科学省

大学病院施設の省エネルギー対策の手引き [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/green/1308515.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/green/1308515.htm)

### ■省エネ診断

- 省エネ診断は、ゼネコン、サブコン、設計事務所、建物管理会社、ESCO事業者等が実施している。(無償、有償有り)
- (一財)省エネルギーセンターやクール・ネット東京では、省エネ診断を実施する技術者や会社を公開している。

<http://www.eccj.or.jp/education/diagnosis/index.html>

<http://www.tokyo-co2down.jp/check/registration/intro/>

## 4 最新の建設単価の動向

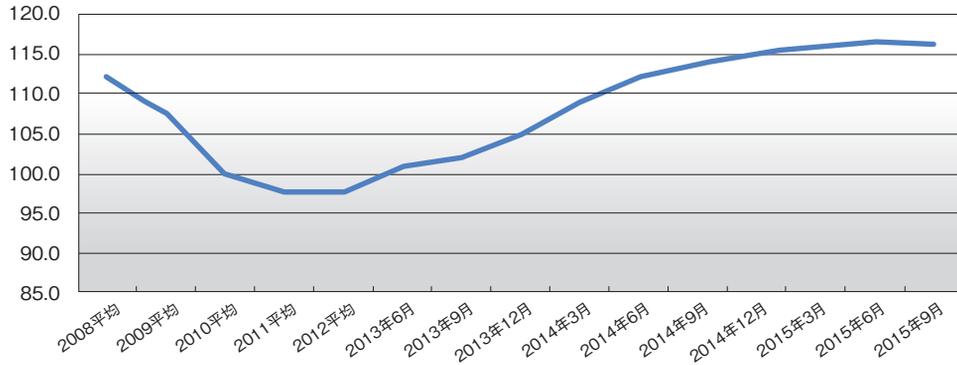
### ■建設単価の現況

- 2011年東日本大震災以降、継続して建設単価は上昇傾向にあります。
- 原因としては労働者不足による労務費の上昇と、アベノミクスによる物価上昇(資材費)が考えられますが、現在は大きな変化はありません。

### ■建設単価の(総合指数)の動向

〔標準建築費「東京地区 S造 オフィス」のケース〕

出典:「標準建築費指数 季報」(2015年秋季号)「建設工業経営研究会発行 総合指数:2010年を100とした指数

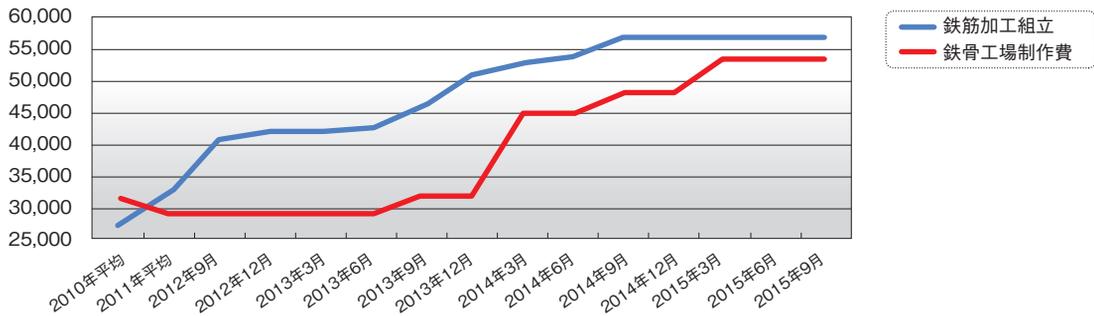


- 2012年より約20ポイント上昇
- 1年前と比較すると数ポイント上昇で高止まり傾向

### ■労務費の動向

〔鉄筋加工組立費・鉄骨工場製作費(東京地区、円/t)〕

出典:「建築コスト情報」(2015年秋季号)「建設物価調査会」発行

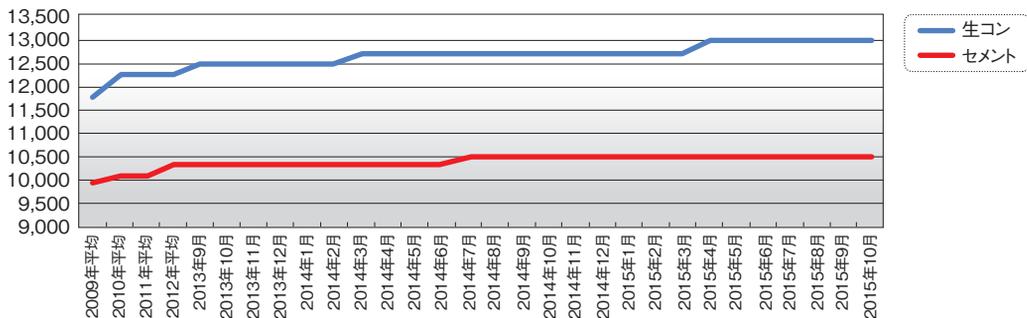


- 現在は、工種によって差があるが、高止まり傾向。

### ■資材費の動向

〔生コン(円/m<sup>3</sup>)・セメント(円/t)〕

出典:「建設物価」(2015年10月号)「建設物価調査会」発行



- 資材費は市況に波があり、品目によって差があります。
- 鋼材は下落傾向であります、生コン・セメントは値上げ要請が続いています。

### ■今後の予測

- 建設単価としては高止まり傾向にある。
- 資材費は、品種により市況に差があり、予測は難しい。
- 労務費は今春以降、全体的に横ばいで高止まり。

2015年度以降も、オリンピック開催のためのインフラ工事等の発注前倒しや、オリンピック関連工事の本格着工、消費税前の駆け込み需要もあり、建設投資の増加が見込まれ、さらに建設単価が上昇する可能性があります。

## 「成り立ち」

当全国自治体病院協議会・賛助会は全国自治体病院協議会が1962年4月に設立されたのを受け、自治体病院の発展に寄与することを目的とし、1968年7月17日に病院関連の有志企業によって結成されました。

現在は127社(2016年4月現在)が加入し協議会会員自治体病院に対し医療にかかわる情報の提供、業務改善提案、学会、研究会、講習会、展示会等に対する協力等の事業を行っています。又、様々な行事を通し会員相互の向上を図るための活動も積極的に行っています。

## 主な活動

- 1 定時総会(年次活動報告、収支報告、監査報告)
- 2 協議会との意見交換会
- 3 研修会(講演会、病院見学会等)
- 4 新春賀詞交歓会
- 5 全国自治体病院学会や地方学会への参加
- 6 協議会との情報交換会(協議会に対し最新事例や業界最新動向・情報を発信)
- 7 寄付活動(協議会及び学会へ)

平成28年4月14日  
第49期 定時総会



会場:海運クラブ(東京都)  
総会では、1年間の行事報告や賛助会運営についての提案が行われ議論されました。  
その後、選挙を通じ新しい役員会社24社監事会社2社が決定しました。同時に三役が選出され49期の体制が決定しました。  
写真は新会長に選出された伊藤会長(株式会社伊藤喜三郎建築研究所)

平成28年2月18日  
賛助金贈呈式



会場:剛堂会館(東京都)  
賛助会から全国自治体病院協議会に対し、自治体病院の発展を願って、賛助金の贈呈式が行われました。

平成28年2月25日  
第2回研修会



会場:ホテルラヴィエ川良(静岡県)  
研修会には、賛助会から多数の出席者を始め、全国自治体病院協議会、(株)自治体病院共済会からも出席を頂きました。  
研修会では、協議会会長 邊見公雄先生より講演をして頂きました。  
演題:「生命輝かそう自治体病院協議会・賛助会～今後の日本の医療～」

平成28年1月7日  
新春賀詞交歓会



会場:ルポール麹町(東京都)  
賀詞交歓会では、自治体病院協議会、自治体病院共済会からも多数のご参加を頂きました。  
賛助会からは、今年も全国の自治体病院に役立つ活動を続けることが誓われました。  
写真は乾杯の音頭をとる株式会社自治体病院共済会 樋口代表取締役社長

# 全国自治体病院協議会・賛助会

当賛助会は、公益社団法人 全国自治体病院協議会への協力と自治体病院の発展に寄与することを目的としています。

## 第1 ブロック 医療機器部門 (27社)

協和医科器械(株)  
グリーンホスピタルサプライ(株)  
(株)グリーンメディカル  
コヴィディエンジャパン(株)  
コニカミノルタジャパン(株)  
サカセ化学工業(株)  
サクラ精機(株)  
シーメンス・ジャパン(株)  
シスメックス(株)  
(株)島津製作所  
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)  
すみれ医療(株)  
(株)タカゾノ  
(株)千代田テクノ  
テルモ(株)  
日機装(株)  
ニプロ(株)  
日本光電工業(株)  
(株)日立製作所  
(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン  
フクダ電子(株)  
富士電機(株)  
富士フィルムメディカル(株)  
(株)ホギメディカル  
美和医療電機(株)  
村中医療器(株)  
(株)理舎

## 第2 ブロック 設備部門 (31社)

アーパス技研工業(株)  
(株)IHI汎用ボイラ  
(株)AiHO  
アイホン(株)  
アクアス(株)  
アズビル(株)  
(株)アルメックス  
(株)S&Sエンジニアリング  
(株)荏原製作所  
(株)岡村製作所  
(株)ケアコム  
コクヨ(株)  
斎久工業(株)  
(株)三晃空調  
三建設備工業(株)  
シーホネンス(株)  
(株)スローライフジャパン  
(株)セントラルユニ  
ダイキン工業(株)  
ダイダン(株)  
高砂熱学工業(株)  
(株)日本シューター  
日本調理機(株)  
(株)パートナ  
パナソニックヘルスケア(株)  
パラマウントベッド(株)  
不二サッシ(株)  
(株)フジマック  
フランスベッド(株)  
文化シャッター(株)  
YKKAP(株)

## 第3 ブロック 設計建築部門 (25社)

(株)梓設計  
(株)石本建築事務所  
(株)伊藤喜三郎建築研究所  
(株)奥村組  
鹿島建設(株)  
(株)教育施設研究所  
(株)楠山設計  
(株)久米設計  
(株)佐藤総合計画  
(株)昭和設計  
(株)大建設  
大成建設(株)  
(株)竹中工務店  
(株)田中建築事務所  
(株)内藤建築事務所  
西松建設(株)  
(株)日建設  
(株)藤木工務店  
(株)フジタ  
(株)松田平田設計  
三井住友建設(株)  
(株)村田相互設計  
明豊ファシリティアークス(株)  
(株)山田総合設計  
(株)横河建築設計事務所

## 第4 ブロック 製薬部門 (12社)

エーザイ(株)  
大塚製薬(株)  
協和発酵キリン(株)  
興和(株)  
参天製薬(株)  
大鵬薬品工業(株)  
武田薬品工業(株)  
田辺三菱製薬(株)  
東和薬品(株)  
日本ケミファ(株)  
Meiji Seika ファルマ(株)  
持田製薬(株)

## 第5 ブロック 資材サービス部門 (32社)

(株)アートネイチャー  
(株)アイシーエム  
(株)アイセイ薬局  
(株)アベックス  
(株)HRシンフォニー  
SBSロジコム(株)  
(株)エヌジェーシー  
(株)エフエスユニマネジメント  
クオール(株)  
(株)サン・システム  
(株)サンワ  
(株)ジェイワールドトラベル  
(株)じほう  
(株)ジャパンビバレッジ東京  
(株)ソラスト  
損害保険ジャパン日本興亜(株)  
大日商事(株)  
トータルメディカルコンサルタント(株)  
(株)ニチイ学館  
(株)日本経営戦略人事コンサルティング  
日本調剤(株)  
日通旅行(株)  
日立メディカルコンピュータ(株)  
富士産業(株)  
ベストワールド(株)  
(株)丸井工文社  
(株)LSIメディエンス  
(株)メディネット  
八尾医療PFI(株)  
(株)ヤマシタコーポレーション  
(株)ライフケアパートナーズ  
ワタキューセイモア(株)

総会員数127社 2016年4月1日現在

※各会員企業へのご連絡・ご相談は…

下記URLよりご確認ください  
全国自治体病院協議会・賛助会  
ホームページ <http://www.jmha-p.net/>

### 平成28年度三役会社

会長会社  
副会長会社(会計)  
副会長会社(総務)

(株)伊藤喜三郎建築研究所  
日立メディカルコンピュータ(株)  
(株)エヌジェーシー